

# 議会だより

第65号

子どもの笑顔が未来に続く  
幸せ実感都市 木津川

木津川市議会



新議長あいさつ・臨時会	2~3
副市長2人以内に	本 会 議 4~5
常任委員会	6~7
会派代表質問	10~15
11人が市政を問う	16~21

みんなの願いが  
かないますように

恭仁小学校



## 議会だより第65号の 発行にあたって

議長 長岡 一夫



市民の皆さんには、平素から議会活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
5月15日の臨時会におきまして、第9代木津川市議会議長に就任させていただきました。誠に身

に余る光栄であり、市民の皆さんに感謝申し上げますとともに、議長として、誠心誠意、公正な議会運営に努めてまいります。

木津川市はこれまで人口が増加してまいりましたが、今後は人口減少と高齢化が課題になってまいります。

議会といたしましても、議決機関としての役割を担う中で、市の発展に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

また議会では、今後も議会のICT化を進めまして、「議会の見える化、ペーパーレス化」を一層図ってまいります。

これからも議会が持つ監視機能を十分に發揮し、よりよい木津川市の実現に向け取り組んでまいりますので、市民の皆さんのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 議会三役

議長 長岡 一夫

副議長 柴田はすみ

監査委員 兎本 尚之

### 常任委員会

総務文教常任委員会 (7人)

厚生常任委員会 (6人)

産業建設常任委員会 (6人)

### 議会運営委員会

委員長 福井 平和

副委員長 西山幸千子

委員 玉川 実二

※常任委員会のページで  
委員を紹介

谷川 光男  
大角 久典  
倉 克伊

### 会派

#### 〈新風コスモスの会〉

幹事 森本 隆

野田 えり

福井 平和

兎本 尚之

#### 〈日本共産党木津川市議員団〉

幹事 宮嶋 良造

西山幸千子

〈公明党〉

幹事 大角 久典

柴田はすみ

#### 〈自民党木津川〉

幹事 倉 克伊

堤 征一郎

山本 和延

長岡 一夫

#### 〈改革木津川〉

幹事 高岡 伸行

玉川 実二

#### 〈日本維新の会〉

幹事 谷川 光男

山崎 光祐

小見山 正

#### 〈会派に属さない議員〉

山本しのぶ

谷口 英子

草水 基成

## 臨時会

# 立候補により正副議長を選出

5月15日・16日、臨時会を開会。正副議長を選出し、監査委員、常任委員などの選任を行った。同意1件、承認12件を審議し、全ての案件を同意・承認した。

## 国保税限度額等の引き上げ

高齢者支援金の引き上げと、5割・2割軽減の基準を引き上げるもの。

### 反対討論

宮嶋 良造

毎年のように最高額がアップしている。今回で1世帯104万円になる。高すぎる国保税を抑えるのに市長会も要望するの負担金を増やすべき。

賛成多数で承認  
(賛成17人・反対2人)

賛成多数で承認  
(賛成17人・反対2人)

Q 限度額が引き上がることで、軽減の基準が広がることで影響を受ける世帯はどれくらいか。

A 引き上げ対象が121世帯。軽減対象が42世帯。

Q 市長は、国庫負担増を国へ要望しているのか。

A 知事会や市長会と連携して要望している。

## 4年度補正予算

市税や地方交付税が増収となる一方、コロナワクチン接種の申し込み減等により、20億8204万円の減額補正。

Q 新型コロナウイルスワクチン予防接種健康被



5類に移行された新型コロナウイルス感染症（ワクチン接種会場）

害給付金が、57万円減額となった理由は。

A 4年度はアナフィラキシー等が2件、国で認定された。あと1件はま

だ認定されていないので減額となった。

全員賛成で承認

## 低所得の子育て世帯に給付

Q ひとり親世帯等に支給される子ども1人5万円の支援金の給付時期は。申請が必要な方への周知方法は。

A 5月末頃を予定。HPや公式ライン等で周知。

全員賛成で承認

## 立候補所信表明の概要

### 議長候補

長岡 一夫

議会基本条例に基づき市民に開かれた議会運営と、デジタル化に引き続き取り組み、議会改革を進めていく。

### 副議長候補

柴田はすみ

議長の補佐はもちろん、女性の政治参画推進と議会の活性化、市民に信頼される議会の実現を目指す。

投票総数  
長岡 一夫  
白票

20票  
17票  
3票

投票総数  
柴田はすみ  
白票

20票  
18票  
2票



# 「以内」で議論白熱

6月定例会は、6月5日から6月30日まで、26日間の会期で開催。  
同意9件、議案2件、議員提案1件を審議し、同意・可決した。

## 副市長の選任

副市長の任期が、6月7日で満了する。新たに稲垣勝彦氏を副市長に選任するため、議会の同意を求めるもの。

Q 稲垣氏を選ばれた理由は。

A 山城広域振興局長としての経験もあり、府南部地域の実情にも詳しく適任である。

Q 現在、上下水道事業管理者は空席だが、どのように考えているのか。

A 3月31日をもって退職されたため、今後必要であるかは検討をする。

Q 今回女性の副市長や、公募は検討したのか。

A 公募は検討していない。男女関係なく、能力のある人考えた。

反対討論 谷口 英子

副市長は選挙で選ばれていないため、選考過程を明らかにすべき。

市は男女共同参画推進の立場であり、男女のバランスを考慮すべき。

賛成討論 森本 隆

稲垣氏は府職員出身で行政経験も長い。山城広域振興局長に就く等、山城地域の行政課題を熟知されている。副市長としてふさわしく、賛成。

反対討論 山本 しのぶ

市民への説明責任を果たすべき消防署等再編問題、学校統廃合、水道広域化等、市が直面してい

る重大な問題に精通していないため反対。

賛成討論 西山 幸千子

副市長の選任は市長の人事権を尊重する。だが、もろ手を挙げての賛成ではない。1人で十分とも言いつけず、今後に対し条件付きの賛成。

賛成多数で同意  
(賛成17人・反対2人)

## 市税条例の一部改正

Q 特定小型原動機付自転車とは。

A 電動キックボードのことである。

反対討論 宮嶋 良造

森林環境税を個人住民税均等割に上乗せし、豊かな森を育てる府民税と二重の課税になる。

Q 森林環境税の市民や事業者への影響は。

A 東日本大震災復興税が廃止されるので、市民負担は増えない。

賛成多数で可決  
(賛成17人・反対2人)



電動キックボード

# 副市長「2人



多くの市民が参加した防災士養成講座（4年12月）

## 5年度補正予算

収入・支出ともに4億

6771万円を増額し、  
総額325億5700万  
円とする。

（詳細はP8参照）

Q 谷口新市長の独自色

全員賛成で可決

の予算は。

A 9月以降の補正予算、  
6年度当初予算で具体化  
する。

Q 防災士養成講座の対  
象者は。

A 広く市民等の参加を  
募る。

## 副市長を2人以内

倉克伊議員らが副市長

の定数を「2人以内」と  
する条例改正を提案。

提出者 倉 克伊

森本 隆・大角 久典  
高岡 伸行・草水 基成

Q なぜ、議員が提案す  
るのか。

A（発議者）人口も8万  
人になり、国・府の事業  
協力を得るために市長の  
選沢肢を増やす。

30日、議員相互の議論  
を尽くすために採決前に  
自由討議を行った。

①副市長の定数は市長が  
提案すべきである。

②人件費は任期4年で1  
人6880万円かかる。

③「〇〇以内」とする自  
治体は全国に6市ある。

④市政の課題に対応する  
ために副市長は2人必要。  
など活発な議論を行った。

### 反対討論

山本 しのぶ  
予算を審議する立場の

議員が、予算増額につな  
がる副市長定数条例の一  
部改正を提案することは  
適切ではないため、反対。

### 賛成討論

堤 征一郎

合併時に修正された副  
市長の定数を見直し、市  
民の利益と市の発展には、  
2人の副市長が分担して  
尽力することが必要と判  
断して賛成。

### 反対討論

山崎 光祐

市長がすべき副市長の  
定数増を議員が提案する  
のは、市長への付度と捉  
えられかねず、二元代表  
制の在り方が大きく問わ  
れるものであり反対。

### 賛成討論

福井 平和

副市長の条例定数を2  
人以内と定めることで、  
臨機応変の事態に対処す  
るための選任同意議案を、  
スピード感をもって提案  
することが可能となる。

### 反対討論

西山 幸千子

副市長が2人必要なら、  
市長自らが提案すべき。

議会は市長に対し監視  
・抑制するもの。議会の  
提案は市民に納得さ  
れない。

### 賛成多数で可決

（賛成11人・反対8人）

## 人事案件

選挙管理委員・補充  
員を選任。

### 選挙管理委員

・柴田 直三氏  
（山城町綺田）

・福守 和美氏  
（鹿背山）

・森川 克恵氏  
（木津川台）

・和田 稔氏  
（木津）

### 選挙管理委員補充員

第1順位

・前田憲一郎氏  
（木津町）

第2順位

・奥 恵子氏  
（南加茂台）

第3順位

・兎本 正宏氏  
（加茂町里）

第4順位

・高林 稔氏  
（山城町椿井）

## 電動キックボード にも課税

### 総務文教委員会

6月16日に委員会を開会し、議案1件、報告7件、発議1件を審査した。

全議案可決

### 市税条例の一部改正

Q 今回の改正内容は。

A 7月施行の特定小型原動機付自転車（電動キックボード）への課税。

6年1月からは森林環境税導入と自動車メーカーの不正行為への厳罰化。7年1月から扶養親族等申告書の記載の簡略化。

Q 森林環境税千円と「京都府豊かな森を育てる府民税」との違いは。

A 森林環境税は、東日本復興税が終了し、森林

整備の財源を安定的に確保するため国が導入した。府民税は、府内の森林の多面的機能の維持・増進のため、平成28年から導入された。

### 反対討論

導入される森林環境税はすでに類似の府税があり、負担が増える。

賛成多数で可決

### 副市長2人以内に改正

副市長「1人」を「2人以内」にする議員発議が出された。

Q 合併時に副市長を1人にする議案修正を議会が全会一致で可決した。

なぜ議員からの発議で条例改正を提出するのか。副市長の人件費は約1700万円と多額。

A（発議者）平成19年に議会が修正した条例を新体制になったので元に戻す。市全体から見れば、

2人でも無駄な支出ではない。費用は、ほぼ同額の上下水道事業管理者の予算が計上されている。優秀な人材を集めたい。2人で柔軟に対応してもらいたい。

委員長	玉川 実二
副委員長	森本 隆
委員	野田 えり
委員	堤 征一郎
委員	谷川 光男
委員	西山幸千子
委員	柴田はすみ

Q 市長が判断して、市長自ら出すべき改正案。「元に戻す」以外の理由とは。

A（発議者）議会が修正したので元に戻す。市長が必要な時期に提案できるように、「2人以内」に枠を広げることが重要。

自由討議の後、継続審査の動議が出され、賛成少数で否決。

### 反対討論

議会としても一致していない。人口も減りつつあり、市長が提案すべき。

### 賛成討論

市全体を支える過大な

仕事量。集中する権限を分散させることも必要。

11億2080万円。

### 報告案件

公共工事設計労務単価の見直しにより増額。

○相楽小南校舎大規模改修工事

○木津小校舎増築工事  
1497万円を増額し、2億1743万円。

○城山台小校舎増築Ⅱ期工事  
1493万円を増額し、5億1974万円。



後列左から 堤、柴田、野田、西山、谷川  
前列左から 森本、玉川、長岡

## 繰り越し事業 を質疑

### 厚生委員会

6月20日に委員会を開会し、報告1件の質疑を行った。

委員長	副委員長	委員			
山本和延	宮嶋良造	山崎光祐	谷口英子	草水基成	兎本尚之

## 繰り越し事業 を質疑

### 産業建設委員会

6月22日に委員会を開会し、報告3件の質疑を行った。

委員長	副委員長	委員			
倉克伊	大角久典	福井平和	小見山正	山本のぶ	高岡伸行

### 報告案件

4年度予算の事業1件を5年度に繰り越した。

○戸籍の広域交付や、行政間で戸籍情報の連携を行うためのシステム改修。指紋認証機やスキナーなどは、システム改修後にしかセットアップできないため、備品購入費も繰り越した。  
6年3月末の本格実施に間に合うように準備を進めている。



後列左から 山崎、谷口、草水、兎本  
前列左から 宮嶋、山本和延、長岡

### 報告案件

4年度予算の事業3件を5年度に繰り越した。

○木津川台駅前線整備事業。橋脚は全部で4カ所、4年度に1カ所完成。現在、3カ所の工事を進めている。鉄道2社・府・警察・地元等との協議に遅れがあり、9年度完成見込み。  
○水道管移設工事等。大井手川河川改修に伴うもの等。  
○下水道管未整備地域の整備に伴うもの等。



後列左から 小見山、山本のぶ、福井、高岡  
前列左から 大角、倉、長岡

委員会終了後、市営住宅（兎並）の現地視察を行った。

**補正予算特別委員会**

## 主な質疑

# 組合議会報告

## 議長など役員改選

(環境施設組合)

5月23日、臨時会開会。  
同意2件、承認1件を審議。

## 老健の食費値上げ

(山城病院組合)

5月23日、臨時会開会。  
同意3件、議案1件を審議。

議長に高岡伸行、副議長に田中良三氏(笠置町)を選出。

## 全員賛成で同意

監査委員に西井正氏(木津川市)、西山幸千子、廣尾正男氏(南山城村)を選任。

## 新庁舎造成・斜面安定化工事契約を変更

(相楽中部消防組合)

5月25日、臨時会開会  
議案2件、同意1件、承認1件を審議。

## 賛成多数で承認

○4年度補正予算第2号  
139万円を増額し、  
19億1188万円。

## 議長など役員改選

(広域行政組合)

5月29日、臨時会開会。  
同意1件を審議。

議長に長岡一夫、副議長に三原和久氏(精華町)を選出。

監査委員に久保憲司氏(南山城村)を選任。

## 議長など役員改選

(加茂笠置組合)

5月24日、臨時会開会。  
同意1件を審議。

議長に西山幸千子を選出。

議会運営委員に柴田はすみ、玉川実二を選任。

監査委員に兎本尚之を選任。

## 全員賛成で同意

## 全員賛成で同意

○6126万円を増額し、  
6億2730万円とする  
新庁舎造成・斜面安定化  
工事の変更契約。

## 全員賛成で同意

監査委員に西昭夫氏(笠置町)を選任。

Q なぜ、当初予算に計  
上しなかったのか。  
A 大規模な伐採は別途  
協議するとしていた。

## 賛成多数で可決



季節感ある老健やましろの食事

森本 隆  
野田 えり  
福井 平和  
兎本 尚之



森本 隆

Q 教育環境ナンバーワンを目指せ

A デジタル教育の活用を進める



タブレットを活用したデジタル教育（泉川中学校）

（質問）所信表明「子育て・教育環境の充実」の取り組みは。  
①子育て施策は。  
②教育環境施策は。  
③小中学校の学習塾のかわりに自治体がタブレットを活用した補助学習、受験対策は。  
（市長・教育長他）①子育て世代包括支援センターを活用し、産後ケア事業、新生児聴覚スクリーニング検査助成事業に取り組む。こども家庭庁の取り組みと最大限連携できるように組織体制の在り方も検討していく。  
②1人1台のタブレット整備により、学習方法が探求型・課題解決型へ変

化した。今後、通信環境の改善と電子黒板をテレビ型に整備する。  
③現在、デジタルで個別

最適の学びに取り組んでいる。今後、中学生の受験対策に活用することの実現に向け対応していく。

地域活動を支援せよ

（質問）地域コミュニティの主体的な地域活動を支援するためには、活動の場所の提供と活動費の助成が必要。活動の場の格差を是正すべき。  
活動費は使途制限を緩和できないのか。

（市長・総務部）活動の場については、地域でアンバランスがあり、公共施設等総合管理計画で改善していく。

活動費については、市民協働型の交付金も活用して欲しい。

ICT技術の積極活用を

（質問）①市民ファーストと業務効率化の両立に向けたICT推進計画は。  
②事務効率化のために「チャットGPT」を活用しては。  
③公共施設等総合管理計画の個別施設計画の進捗状況は。  
④市民への見える化のために中学校区ごとに公共

施設の偏りがないか検証が必要。現状は市民の40%以上の方が住む木津二中、木津南中学校区に、地域コミュニティの場が集会所しかない。公共施設の在り方を見直すべき。  
（市長・総務部他）

①木津川市デジタル田園都市構想総合戦略の中でICT推進の基本戦略に盛り込む。

②職員のITスキル向上が不可欠なので、当面は先進地の状況を注視し研究する。

③第一期目標削減率8%に対し現在は3%である。城山台小等の新設があるため、総合計画との整合性をもって進める。

④中学校区ごとの公共施設は対応が難しい。市民が享受できる公共施設の有効活用と総量の最適化を目指している。

## 会派 代表質問

自民党木津川

幹事

倉 克伊  
堤 征一郎  
山本 和延  
長岡 一夫

Q 子育て支援の基本的な考えは

A 切れ目のない支援策が重要



倉 克伊

(質問) ①子育て支援について市長の基本的な考えは。

②具体的な支援策は。

(市長) ①こどもや若者は将来を支える大切な存在で希望を持てるまちづくりが必要。国・府と連携し、切れ目のない支援が必要。

②子育て世代包括支援センターを設置し、母子健康診査・産後ケアや、新たに新生児聴覚スクリーニング検査助成等に取り組んできた。

共働き世帯支援や、医療費助成制度の拡大を検討。5年度、子育て環境の充実に向け検討する。



市での子育て応援を（プレイフルパーク）

災害に強いまちづくりを

言に対する考えは。

(質問) ①気候非常事態・ゼロカーボンシティ宣

②再生可能エネルギーの普及や省エネの取り組み、特に蓄電池の助成は。

③山城町神童子地域での太陽光設備計画の現状と今後の市の対応は。

(市長・市民部) ①気候変動で自然環境への影響が危機的と認識する。2050年までに二酸化炭素排出量ゼロを目指し取り組み。②再生可能エネルギーは地球温暖化対策に大きな役割を占める。蓄電池補助は府の制度を活用し普及促進を考える。③2年に条例を制定し、この地域に事業申請され

③特に水害時の地域の安心安全のため、周辺に防災施設整備を考えては。④府道枚方山城線の延伸のめどは。

(市長・建設部) ①5年度で平尾神童子地区まで完了予定。市の地籍測量後、国の地形測量、道路予備設計の段階で地元説明となる。その後、幅杭設置、境界立会、用地測量、用地買収、詳細設計等を経て問題がなければ工事着手となる。

②都市計画マスタープランでにぎわい拠点や田護池の水辺構想、棚倉駅周辺整備など4カ所の整備拠点を位置付けている。③不動川公園を広域防災拠点と位置付けている。施設整備は、検討が必要。④府において予備設計を進められており、早期事業化に向け協議を進める。

24号バイパス周辺整備は

(質問) ①測量は予定通りなのか。地元説明会はいつ頃か。工事工程を説明せよ。②バイパスを活かしたまちづくりが必要。市の考えは。

幹  
事

谷川 光男

山崎 光祐

小見山 正



谷川 光男

Q 今後の4年間のまちづくりは

A 魅力あるまちづくりに取り組む

（質問）①給食費の段階的無償化・18歳までの医療費の軽減を実施する考えは。②窓口事務のスマート化を目指した取り組みで、職員削減になるのか。③自主財源を確保するため立地企業等の状況と今後の見通しは。④農業の持続的発展を目指した取り組みは。⑤木津川橋付近での計画施設の実施内容は。⑥JR奈良線の複線化は。

（市長）①食材費の高騰分を公費負担。医療費助成は、他の子育て支援策を含め検討。②行政手続きの自動化により負担軽減が期待され、職員の削減も可能。③市発足から



企業誘致を推進し23社が立地。新たに4社が操業準備中。④「農（みのり）地元京野菜を使用する。⑤にぎわい拠点整備とし

て官民連携による施設を計画。⑥複線化は、市の重点施策と位置付け、引き続き沿線市町と連携して取り組む。

均衡のとれたまちづくり

（質問）①均衡あるコミユニティバスの再編を進めては。②ゴミ収集方式を統一する考えは。③上粕駅と棚倉駅の駅舎を含めたバリアフリー化を促進する考えは。④加茂地区の地域活性化についての考えは。⑤買い物難民の対策で山城町に商業施設を計画する考えは。

（市長）①市域ごとに要望の声があることも承知している。新規路線については、市域域公共交通網形成計画に沿って進める。②現在、拠点回収・戸別回収が混在している状況。道路状況等により収集方式を統一することは大変困難である。③上粕駅及び棚倉駅は、現在の駅利用者数から、市として駅舎全体のバリアフ

リー化の計画はない。④緊急性を要する事業等を総合的に検討する。⑤棚倉駅周辺は住民のニーズに対応した商業・業務機能などの都市機能を配置することと位置付けている。

防災・減災対策は万全か

（質問）①木津川の堤防強化工事は。②天井川の堤防補強工事は。③防災意識の啓発は。④メガソーラーの計画があるが、現在の状況は。⑤戸別受信機の更新は。

（市長）①堤防強化未対策箇所等の整備を要望している。②現在は不動川の堤防補強工事を施行中。今後も河川工事を継続する。③年1回を基本として、自主防災組織連絡会を開催。④地元住民の意見書の写しが府から業者に送付。⑤アナログ波は6年12月1日に運用停止。

## 会派 代表質問

## 共産党議員団

幹事

宮嶋 良造  
西山幸千子



宮嶋 良造

## Q 子育て支援3つのゼロの実現を A 子育て支援策の拡充を考える

- (質問) 子育て支援の拡充に①近隣より遅れている18歳まで医療費無料を。②学校給食費を無料に。③収入のない子どもの国保料は無料に。教育環境の整備として④体育館にエアコンを。⑤城山台小は分離新設を。使えない和式トイレ8台を洋式に改修せよ。⑥学校の統廃合計画はまず保護者等と話し合いを。(市長・教育長) ①今後、検討したい。②国の施策と考える。③国に要望する。④コスト面など検討課題も多い。総合的な視点で市全体で検討する。⑤過大な児童数に校舎増



核兵器廃絶・世界平和を願い、広島まで行進

築などに対応。洋式トイレへの改修の計画はない。⑥拙速には進めない。合意形成に努める。

環境を守る安心のまちに  
(質問) ①7年度のごみ減量目標は達成できない

のでは。減量計画を見直し有料袋は中止し、ごみ袋の売り上げ基金約3億円を使い、ごみの減量を。②市民と直接会い、新消防庁舎建設の不安や疑問に答えるべきでは。③マイナ保険証は不安だらけ。マイナカードを持たない市民に不利益が出ないように。  
(市長) ①ごみ有料は維持。基金は活用し減量に取り組む。②早期に新庁舎整備が必要。7回の住民説明会で理解を得ている。事情に精通する担当が話を聞く。③加入者の利便性が向上、マイナカードを推進する。

### 市民の暮らしと営業を守る

(質問) ①業者の仕事おこしと住宅のバリアフリー等に住宅リフォーム助成を。市にリフォーム総合相談窓口が必要では。②バスを利用し市内で買い物等ができるようバス運賃は100円に。高齢者・障がい者は無料に。  
(市長) ①取り組む予定はない。②200円を堅持する。  
平和を守る市に  
(質問) ①市長自らが平和行進参加者に激励を。非核平和都市宣言の記念碑建立を。②専守防衛を超え大軍拡推進の自衛隊に、若者名簿を出すべきではない。③同性パートナーが安心して暮らせるために、全国の人口65%をカバーしているパートナーシップ条例を制定すべきでは。同性パートナーは市営住宅に入れないのでは。  
(市長) ①担当課が対応する。記念碑設置は考えていない。②閲覧してもらっている。③条例制定は引き続き調査研究する。市営住宅の入居を想定していなかった。検討したい。



大角 久典

Q 若者の声を市政に生かすべきでは  
A 仕組みづくりに取り組みたい

〔質問〕「すべての世代が安心して健やかに暮らせるまちづくり」の基本方針で脱炭素社会の実現に向け、①市民や事業者の参加の考えは。

②循環型社会推進基金の活用を拡大する考えは。

③ごみ減量や食品ロス削減の取り組みは。

〔市長・市民部〕①市民・事業者の皆さんと連携して取り組む。

②発展的な活用方法を検討する。

③新規事業を検討するなど「ごみ減量化」を進めていく。

〔質問〕「災害に強いまちづくり」の基本方針で、

①防災リーダー育成の進め方は。

②市独自で防災フェスタを行っては。

③女性委員の増員で、女性に配慮した備蓄品の拡充を。

〔市長・総務部〕①平時

への参加を呼びかけスキルアップを目指す。

災害時は地域における災害対応などの活動の協力を求める。

②地震を想定して避難所をすべて開設し、市民参加型の防災訓練を11月に計画。

〔市長・総務部〕①平時

③生理用品や液体ミルクなど女性の視点を含めて備蓄品の充実を図る。

〔質問〕「持続可能な財政基盤の確保」の基本方針で自主財源の確保が重要とされている。特にふるさと納税の取り組みを

〔市長・政策監〕若者がまちづくりに主体的に参加する体制づくりを進めていく。



市のふるさと応援基金の返礼品（一部）

強化するが、  
①ふるさと納税の現状に対する考えは。

②力を入れた施策は。

〔市長・政策監〕

①ふるさと納税は年々増加している。自主財源の確保に向け、より地域の魅力を発信し、取り組みを強化。返礼品の増強や都市圏へのPRに努めたい。  
②現在の6つの使い道を含めて幅広く活用したい。

〔質問〕「住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」の基本方針で、他自治体で行っている若者会議の取り組みを参考に、若者の意見を反映させる仕組みの具体策は。

〔市長・政策監〕若者がまちづくりに主体的に参加する体制づくりを進めていく。

## Q 重点プロジェクトの推進状況は

### A 第2次後期基本計画等に組み込む



玉川 実二

（質問）人口減少問題は国の重要かつ喫緊の課題である。政府の研究機関によると約50年後の2070年には約8700万人、100年後の2120年には5000万人を割り込むとの推計である。当課題についての市の基本的な考えは。

（市長）国の目指す施策を見据え、子どもを産み育てたいと思える環境づくりに取り組んでいく。改めて人口ビジョンを検証し、6年度からの総合戦略に組み込み具体的施策を検討する。

（質問）いくつかの自治体では、国に先んじて市



社会総がかりでの子育て支援（年齢間分業の促進）

トに施策を整備することが大事。

#### 市の経営課題は

（質問）市は、合計特殊出生率を2030年に1.8人。その10年後に2.1人としているが、目標設定の根拠は。

（質問）自治体での「稼ぐ力」の向上、自主財源の創出が、今後更に重要となる。市の考えは。

また、出生数や必要財源予測などの、実数や推計を用いたシミュレーションは。

（政策監）シミュレーションは十分ではない。合計特殊出生率の目標は、国の総合戦略の数値を用いている。

（市長）限られた資源を活用し将来を見据えた選択と集中により、健全な財政基盤の確立を図る。

（質問）民間では、四半期決算も多い。自治体においても適時のマネジメントが必要であると考え

（質問）民間では、四半期決算も多い。自治体においても適時のマネジメントが必要であると考え

（質問）他の自治体では徹底した無駄の削減により子ども支援予算を創設とのこと。市では財源を作るのに、どのような取り組みをしているのか。

（市長）第4次行財政改革行動計画において、2028年度決算時まで経常収支比率を90%未満とするなど、財政指標等の目標値を設定している。

（総務部）3月に策定した第4次行財政改革大綱に基づき、財政の健全化に取り組んでいる。

民から好評を博す施策を講じている。市の独自の政策研究や展開及び他の自治体事例を横展開するなどの考えは。

（政策監）施策は、オリジナリティーを持つことも大切だが、国でフラッ

一般質問

11人が市政を問う

一般質問では、議員が調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに政策提言を行い、行政（市長）に方針や見解を問うものです。

答弁者の肩書きは省略しています。

市議会中継  
スマホに対応



医療費の無償化を18歳までに

持続可能な制度設計を検討

**Q** 国の少子化対策に対応し、府の補助金も拡充された。①今こそ子ども医療費無償化を18歳までにするべきでは。

**A** 市民部・教育部①財源の確保、持続可能かなど総合的に検討して

いる。②給食の有無等、さまざまな自治体がある中でどう補助すべきか国で検討している。

**Q** きょうだいで別々の保育園等に通うのは送迎が大変では。

**A** 教育部 点数配分等を注視していく。



公明党

柴田はすみ

**Q** 伴走型支援として子育て期に、家事なども引き受けてくれる支援体制も必要では。

**A** 健康福祉部 さまざまなケアが必要と認識しているので検討。

もっと便利なコミバスを

**Q** 南加茂台等、高齢化が進む地域での交通手段の確保は大変重要前に進めよ。

**A** マチオモイ 先進地の例を研究。

投票率アップのために

**Q** 健康上の理由で投票に行けない人のために移動投票所を。

**A** 総務部 投票所の在り方を検討。



伴走型支援の充実を（新生児）



渋滞解消が期待される（大谷交差点）

## きょうだいは同じ保育園に 実態等を勘案しながら今後も研究

- Q** きょうだいを複数園に通わす保護者の負担軽減のため、きょうだい加算を増やせないか。
- A** 教育部 公平な利用調整を行うなかで、現在の実態等も勘案しながら今後も研究をしていきたい。
- Q** 産休・育休中の転園申請への柔軟な対応を。
- A** 教育部 国の制度上、産休・育休中の転園は想定されていない。現状、復職の2ヶ月前から申請できる。



日本維新の会

山崎 光祐

### 学校給食費の無償化は

- Q** 国に先駆けて、学校給食費の無償化を実施する考えは。
- A** 教育部 基本的に国の子育て政策として行われるべきものであり、国の動向を注視していく。
- Q** 大阪市のような塾代等の助成（月額一万円）事業を実施する考えは。
- A** 教育部・市民部 家庭の経済状況によって教育を受ける機会に格差が出ないよう、さまざまな視点から研究していきたい。

### 塾代等の助成は

- Q** 大阪市のような塾代等の助成（月額一万円）事業を実施する考えは。
- A** 教育部・市民部 家庭の経済状況によって教育を受ける機会に格差が出ないよう、さまざまな視点から研究していきたい。

## 企業版人材派遣型ふるさと納税を 先進地域を参考に検討

- Q** 企業誘致について成果と税収効果は。
- A** マチオモイ 23社から約37億円、千人の雇用効果。新規に4社の操業予定。
- Q** 企業版ふるさと納税の人材派遣型の受け入れの検討は。
- A** 企業版ふるさと納税の人材派遣型の受け入れの検討は。
- Q** 競争条件を一部緩和して市内に入札案件を絞ってはどうか。
- A** 建設部 市内業者への発注を基本に考えている。
- Q** 市内に支店など拠点を設けている業者は、法人市民税の申告書等で確認をしたのか。
- A** 建設部 市税完納証明書の提出を求め確認している。



自民党木津川

堤 征一郎

### 大谷交差点の渋滞解消を

- Q** 国道24号と国道163号が交差している大谷交差点を中心に慢性的な渋滞が発生している。また、市内の他の場所も含めて市としての渋滞解消への対応は。
- A** 建設部 今後、必要に応じて国や府へ渋滞緩和について要望していく。



子どもたちの健やかな成長を願って、保護者の負担軽減を



もっと積極的にPRしては

## 京阪奈新線の高の原への延伸は

### 周辺自治体と連携して取り組む



日本維新の会

小見山 正

でに13人配置した。ただ、地域移行は受け皿となる民間組織がないこと、保護者の経済的負担の問題があることから、スローダウンしている。

**Q** 京阪奈新線の高の原駅への延伸を実現するためPRや取り組みは。

**A** 市長・マチオモイ PRはしていない。

「京田辺・精華・木津川学研都市行政連絡会」を通じて、国・府に要望していく。奈良市とは情報交換をしている。

城山台に中学校を

**Q** 今からでも城山台に中学校を新設できないのか。

**A** 教育部 もともと中学校用地は確保しない方針で開発計画を実行してきた。学校用地を確保することが困難なので、

部活動の地域移行を

**Q** 中学校の部活動の地域移行の議論の進捗は。

**A** 教育部 地域移行を見据え外部指導者等の増員に努めている。す

## 飼養衛生管理基準を守るべき

### 奈良県へ適切な指導を要請

**Q** 「府県境、市など業者・奈良県に対応迫る」で報道された市道・水質など現状の問題点の認識と具体的な解決策は。

**Q** 市長は、現地を視察したのか。

**A** 市長 6月14日に副市長と共に現地視察した。改善に向けた取り組みを十分に検討していきたい。

**A** 市民部 上流域では、一時的な汚濁が見られることがある。今後も引き続き水質の調査及び



無党派

草水 基成

市を拠点に活躍する人を

**Q** 7月1日の人事異動の目的・狙いは。

**A** 市長室 新市長の市政運営組織の体制強化、組織力低下を招かないよう幹部職員の登用を積極的に行った。持続可能な財政基盤の確保のた

め職員の拡充を図った。

地域公共交通の再構築を

**Q** 南加茂台地域で、オンデマンド交通の実証実験を。

**A** マチオモイ モデルプランとしてはなり得る。今後先進事例を研究していきたい。



2023年4月30日 京都新聞

## 市民参加の仕組みを作れ

すでに体制はできている

**Q** ①パブリックコメントは周知不足では。

学校再編を市民と

②消防・学校再編・城山台小に関した署名は出されたか。

**A** マチオモイ・総務部  
他①改善したい。

②消防3件、城山台小、小中学校再編の署名が、提出された。

**Q** ①在り方委員会の委員に統廃合対象地域からの人選は。②協議会

はいつ頃開催されるのか。  
**A** 教育部①学識経験者や、地域の方など14人。地域という概念はない。②未定である。

城山台小児童急増対策を



無党派

谷口 英子

**Q** ①保護者の評価は。②過大規模校と小規模校をどう解決するのか。

**A** 教育部①学校評価は高い。②過大規模でも、児童の能力・特性を最大限伸ばす。学校の学習環境を整備する。

児童発達支援センター

**Q** ①協議会に当事者が入るべきでは。②医療体制は。③保護者に寄り添う施策を。

**A** 健康福祉部①現状は入っていない。②6月より山城総合医療センターで月2回発達外来を開始。③専門職員を増員して対応。



6年度より児童発達支援センターに生まれ変わる予定



新市長の熱意が伝わる過疎対策を期待（JR加茂駅）

## 加茂地域を見捨てないで新市長

とても魅力的なまちであると認識

**Q** 加茂地域の過疎地域持続的発展の計画を策定したが、具体的な対策は。

**A** 政策監 加茂地域は、歴史文化遺産が豊富であり、学研都市の近郊地域である点を活かすことが重要。地域特性を最大限に活

かしつつ、産業やコミュニティなどの地域活性化に取り組みながら、将来を支える若い世代を中心とした人口定着を図っていく。

**Q** 加茂地域を含む山城南医療圏の医療と地域包括ケアシステムの現状と課題は。

**A** 健康福祉部 診療所の数は全国平均だが、病院・介護施設は、平均を下回っている。

可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことが大事。そのために、医療と介護が包括的に提供される体制づくりを進めることが大変



新風コスモスの会

兎本 尚之

**Q** 重要と考える。  
加茂地域に対する市長の考えは。

**A** 市長 加茂地域の過疎対策は、私も議員の時に訴えてきたこともあり、全庁的に問題意識を持って取り組んでいきたいと考えている。

## 大規模災害対策は万全か

### 災害対策の普及啓発を図る

**Q** 高齢者世帯に戸別受信機は必要ないと考えるか。

**A** 市長 全く必要ないとは考えていない。

発達障害に有効な支援を

**Q** 障害の有無に関わらず利用できるペア

レントトレーニング（子育てに不安をかかえる親の学びの場）を市で実施すべき。

**A** 健康福祉部 検討する必要がある。

**Q** 発達障害へのサポートは京田辺市のよう

に一枚のシートで情報提供を。

**A** 健康福祉部 他市の事例を参考にして検討する。

**Q** ウォータークーラ

ー設置の必要性は、子ども基本法に従い、子どもの意見を確認したか。



無会派  
山本しのぶ

**A** 教育部 設置の必要はないと判断。子どもの意見は聞いていない。

水道広域化の状況は

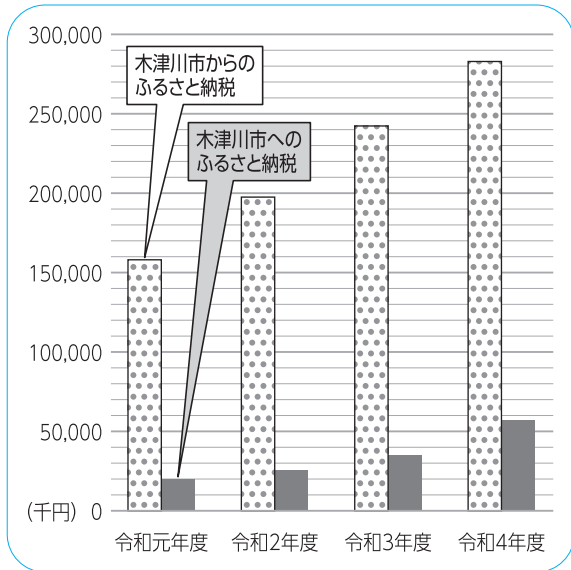
**Q** 住民説明会や協議会設置の考えは。

**A** 上下水道部 一定の方向性が見えた段階で、議会に説明、市民の意見を聞く機会が必要と考えている。



戸別受信機とは、気象警報や地震速報、火災発生などを知らせる機器です。

京丹後市では各世帯に無償貸与



ふるさと納税で市の税収は減っている

## 若者議会や住民懇談会は

### ぜひとも実施していきたい

**Q** 市長は若者の意見を反映させるため、若者議会などの取り組みを表明されている。地域懇談会等の開催を含め、現段階の構想は。

**A** 市長・政策監 先進事例を研究し、本市ならではの取り組みを促進する。地域懇談会等は、

コミュニティの活性化が重要。まず形式を整理し、実施していきたいと考えている。

採択された請願の解決は

**Q** 議会が採択した請願で①山城コミバスの祝園駅への延伸と②学



新風コスモスの会  
福井 平和

**A** マチオモイ・教育部 校体育館・講堂にエアコン設置。その後の対応は、①市内での消費活性化が重要と考える。市民へのアンケートでニーズを把握する。②学校教育と災害時避難所としての利用面等、総合的な視点から検討する。

**A** 政策監 新制度では、寄付金は経費を除き半分が市に還元。市の返礼品を追加することで、新たな財源確保につながる。

府の新ふるさと納税とは

**Q** 10月から実施の京都市町村連携型ふるさと納税の市への財政効果は。



農薬も化学肥料も使わない自然農法の畑

## 地産地消や農産物の魅力発信を 必要な市の施策に取り組みたい

**Q** 今後の農業の発展には、若者や子育て世代の農業者育成と、新規参入が必要では。  
**A マチオモイ** 安定した収入が必要。他の産地との差別化を図る取り組みを市として支援する必要がある。

**Q** 京大農場と市内農園の連携や研修会の開催はできているか。  
**A マチオモイ** 移転前の職業体験学習や小学生の農場見学会にも携わってこられた。市でも今後お願いしたい。

**Q** 市内産の食材を広く知ってもらうために、食育レシピをSNSやアプリに掲載し、情報発信をしてはどうか。  
**A マチオモイ** 積極的に取り組みたい。農薬や化学肥料を使わない農業を市も推進すべきでは。

**A マチオモイ** 課題としては捉えている。しかし、栽培の方法に特化した農業に対する施策ではなく、まずは市内の農業全体としての振興施策に取り組んでいきたい。（この他「移住定住の促進を」も質問した。）



新風コスモスの会  
野田 えり

## 高齢者等の投票の権利を守れ

### できる部分は推進していきたい

**Q** ①選挙に行きづらい人のために支援を。  
②「郵便投票制度」は使い勝手が悪い。無料送迎を考えては。③小さい頃から「投票」を身近に感じられる取り組みを。  
**A 総務部・政策監** ①バリアフリー化などを進めている。②要介護3

①住宅リフォーム制度の創設を。②せめて高齢者に優しいまちへ  
以上も利用できるように要望中。送迎は考えていない。③子ども連れ投票は可能。学校で選挙出前講座を実施している。

**Q** ①総合的な子育て支援に市内の連携強化  
②健康的な子育て支援を  
③健康的な子育て支援を  
④健康的な子育て支援を  
⑤健康的な子育て支援を  
⑥健康的な子育て支援を  
⑦健康的な子育て支援を  
⑧健康的な子育て支援を  
⑨健康的な子育て支援を  
⑩健康的な子育て支援を

**Q** 全国的にも珍しいのもっとPRを。  
**A 教育部** ふるさと案内・かもと協力する。  
残念石と石切場の保存を進める。②子どもには一定の集団が必要。



日本共産党  
西山幸千子

を。②学校の統廃合は子育て支援に逆行している。  
**A 教育部** ①子育て世代包括支援センターに、相談機能の強化を進める。②子どもには一定の集団が必要。

令和5年4月23日執行  
木津川市長選挙  
木津川市議会議員一般選挙

## 投票済証明書

木津川市選挙管理委員会

令和4年度明るい選挙賞  
ポスター・コンクール  
京都府明るい選挙推進協議会  
会長賞受賞作品



誰でも気軽に投票に行けるように

採 決 結 果		第1回 臨時会	第2回定例会			
		国民健康保険 税条例の一部改正	副市長の 選任	税条例の 一部改正	副市長定数条例の 一部改正	
議 員 名	会 派 名					
野 田 え り	コスモス	○	○	○	○	
福 井 平 和	コスモス	○	○	○	○	
兎 本 尚 之	コスモス	○	○	○	○	
森 本 隆	コスモス	○	○	○	○	
堤 征 一 郎	自 民 党	○	○	○	○	
山 本 和 延	自 民 党	○	○	○	○	
倉 克 伊	自 民 党	○	○	○	○	
山 崎 光 祐	維 新	○	○	○	×	
小 見 山 正	維 新	○	○	○	×	
谷 川 光 男	維 新	○	○	○	×	
西 山 幸 千 子	共 産 党	×	○	×	×	
宮 嶋 良 造	共 産 党	×	○	×	×	
大 角 久 典	公 明 党	○	○	○	○	
柴 田 は す み	公 明 党	○	○	○	○	
玉 川 実 二	改 革	○	○	○	×	
高 岡 伸 行	改 革	○	○	○	○	
山 本 し の ぶ	無 会 派	○	×	○	×	
谷 口 英 子	無 会 派	○	×	○	×	
草 水 基 成	無 会 派	○	○	○	○	
長 岡 一 夫	自 民 党 議 長	—	—	—	—	
採 決 結 果		承認	同意	可決	可決	

コスモス＝新風コスモスの会 自民党＝自民党木津川 維新＝日本維新の会  
 共産党＝日本共産党木津川市議員団 改革＝改革木津川  
 無会派＝会派に属さない議員



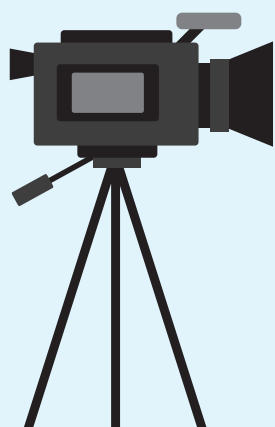
## 議会運営委員

後列左から 玉川、倉、大角、谷川  
 前列左から 西山、福井、長岡



## 広報編集委員

後列左から 兎本、野田、山本しのぶ  
 堤、小見山、宮嶋、高岡  
 前列左から 柴田、西山、長岡



# 市議会中継 スマホに対応

ぜひ、ご利用ください。  
 今後も、より開かれた議会を  
 目指し取り組んでまいります。



<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

# 8月19日(土)

## 市民と議会のつどい(議会報告会)を開催します。

市内3会場にて、「議会だより64号・65号」をもとに、令和5年度予算及び6月定例会、5月臨時会の内容を報告し、市民の皆さんと意見交換を行います。  
事前のお申込みは不要です。お気軽にお越しください。

時 間	会 場	担当議員
9:30～11:30	東部交流会館 多目的ホール	倉・兎本・谷川・西山・草水・堤
13:30～15:30	加茂文化センター 第1・第2研修室	山本和・山本し・小見山・高岡・森本 柴田・宮嶋
	山城支所別館 ホール	福井・玉川・長岡・谷口・大角・野田 山崎

※新型コロナウイルス感染症防止のため、次の点にご協力をお願い致します。  
(1)発熱・倦怠感、咳などの症状がある方は、参加をお控えください。(2)定員を超える場合は、参加をお断りする場合があります。  
ご理解いただきますようお願いいたします。  
※問い合わせは、議会事務局まで TEL.0774-75-1240

### 令和 4 年度 政務活動費収支報告

会派名	新風コスモスの会	みのり会	日本共産党 木津川市議員団	和みの会	公明党	改革木津川	
所属議員	森本 隆 炭本 範子 兎本 尚之 福井 平和	倉 克伊 長岡 一夫 伊藤紀味枝 谷口 雄一	酒井 弘一 西山幸千子 宮嶋 良造	森本 茂 高味 孝之	柴田はすみ 大角 久典	玉川 実二 高岡 伸行	山本しのぶ
交付額(変更がある場合は 変更後の交付額)	480,000	480,000	360,000	240,000	240,000	240,000	84,000
支出額	377,590	358,106	728,988	226,337	169,615	17,250	88,833
支出内訳	調査研究費	0	0	0	117,800	0	0
	研修・会議費	0	0	32,000	0	29,810	9,170
	広報費	376,180	356,316	672,063	182,865	6,390	0
	広聴費	0	0	6,300	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	1,410	1,790	2,930	5,120	2,370	5,060
	資料購入費	0	0	0	38,352	0	38,237
	事務費	0	0	15,695	0	13,245	36,366
返還額	102,410	121,894	0	13,663	70,385	222,750	0

※返還額は、市の会計へ返還しています。(単位：円)

# わたしの意見



岡澤 吉治 さん  
(木津川台)

新市長、新市議会の  
議員の皆様へ

5年度に入り、木津川市は市政17年目に入りました。あらゆる世代の方が、木津川市に住んで良かったと実感できる市政づくりに、一層取り組んでいただきたいと思います。

また、議会運営の効率化を図ると共に、より分かりやすい議会のICT化を進めていただきたいと思います。そして、私たちの声を真摯に受け止めてくださることを期待いたします。

このコーナーへの投稿をお待ちしています。(200字以内)

## 令和5年 第3回(9月)定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会	場所
8月	24日	木	議会運営委員会(議会招集告示)	全員協議会室(5階)
	31日	木	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
9月	1日	金	本会議 (予備日)	
	4日	月	総務文教常任委員会	
	5日	火	厚生常任委員会	全員協議会室(5階)
	7日	木	産業建設常任委員会	
	8日	金	補正予算特別委員会	
	11日	月	本会議 一般質問	
	12日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	14日	木	本会議 一般質問	
	15日	金	本会議 一般質問	
	19日	火	決算特別委員会	
	20日	水	決算特別委員会	全員協議会室(5階)
	21日	木	決算特別委員会	
	22日	金	(予備日)	
	25日	月	議会運営委員会	
	26日	火	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
	27日	水	本会議 (予備日)	

- ・日程については、変更になる場合があります。
- ・本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- ・インターネットで市議会の生中継をご覧いただけます。ぜひご利用いただきますようお願い申し上げます。
- ・議会日程の他、今までの本会議の模様や会議録について、市のホームページ（市議会）から閲覧いただけます。

### 編集後記

木津川市が誕生して17年目に入りました。今回の選挙を経て、議員も会派構成も大きく変わりました。

いま二元代表制である議会に求められている役割は、市長・行政に対する監視・抑制機能と市民の願いを代弁することです。以前からの良さを大切にしながらも、新しいことを取り入れ、日々成長していきたいと思っています。

これからも市民の皆さんに分かりやすい議会だよりを心がけてまいります。どうぞよろしく願います。

西山 幸千子

### 広報編集委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 西山 幸千子 |
| 副委員長 | 柴田 はすみ |
| 委員   | 野田 えり  |
| 委員   | 堤 征一郎  |
| 委員   | 小見山 正  |
| 委員   | 山本 しのぶ |
| 委員   | 兔本 尚之  |
| 委員   | 宮嶋 良造  |
| 委員   | 高岡 伸行  |

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通……………

☎ 0774-75-1240

☎ 0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp